

北海道社会福祉協議会

北海道中国帰国者支援・交流センター 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目一番地かでの2・7

電話 011-252-3411 FAX011-252-3412 URL: <http://www.hokkaido-sien-center.jp/> E-mail: hokkaidocenter@dosyakyo.or.jp

体験旅行

季節を楽しんで交流を深める



7月14日帰国者46名、支援者5名、計51名で札幌市南区にある砥山ふれあい果樹園にさくらんぼ狩りに行きました。当日はときどき小雨もばらつき、蒸し暑い天気でしたが、よく熟れたさくらんぼを存分に満喫することができました。

子どもたち、孫たちなど普段は通所していない家族のみなさんも加わり、自然に触れ、季節を楽しみつつ交流を深めるよい機会となりました。



稚内・地域生活支援推進事業

楽しみながら作るそれぞれのキャンドル



稚内では今年度最初の行事として「キャンドルづくり体験教室」を開催しました。樺太帰国者、支援者計10名がそれぞれのオリジナルキャンドルづくりに挑戦しました。

まずガラスの中央に白いパームワックスキャンドルをセットし、それぞれが好みのアロマオイルを選んで加えました。続いて、好きな花材を中央のキャンドルの周囲に配置し、竹串で位置を調整して思い通りのデザインに仕上げました。最後に、アロマオイルを混ぜた温かいジェルワックスをゆっくりと注ぎ入れ、固まったら芯を整えて完成。色や香りを自由に選ぶという過程も楽しむことができました。

職場見学会に行ってきました！

7月6日 職場見学会を実施しました。そのときの様子を、参加した樺太帰国者2世のイーラさんとナターシャさんに紹介してもらいます。

(※工場内での写真撮影ができなかったため、イラストで紹介します)

訪問したのは、札幌市東区にある札幌協和食品株式会社です。この会社では現在樺太帰国者4名が働いています。今回は工場内を見学し、会社のことや帰国者のみなさんの働きぶりについて教えてもらいました。働いている帰国者のお話も聞くことができました。



(協和食品グループHPより)



私たちはまず工場を見学しました。工場に入るときには必ず手を洗って消毒し、エアーシャワーで服についている見えないほこりなどを吹き飛ばします。工場に入るとまず精肉部門があり、機械でお肉をスライスしたり、焼き鳥用の肉を串に刺す作業が行われていました。さらに先に行くと内臓部門があり、その日は牛の胃をきれいにする作業が行われていました。灰色の牛の胃が、真っ白になるのにはびっくりしました。ちなみに牛の胃はサハリンでも食べます。内臓部門では帰国者が働いていて、腸を洗う機械や内臓をゆでる大きな鍋などを見せられました。



言葉の壁を乗り越えているところがすごいね！



工場を見学した後は、いろいろな質問に答えていただきました。一番気になるのが言葉の問題ですが、身振りや手振りなどでコミュニケーションは取れているそうです。工場での仕事はすべてやって見せることができるので、特に問題が起きたことがないと言います。

また、働いている帰国者も、みんないい人ばかりで、気持ちよく働けると言います。帰国者のみなさんががんばっている姿を見ることができて、とても嬉しかったです！

次回は職業訓練見学の様子をお届けします。

医療・介護特別講座 転倒予防の大切さを学ぶ



6月22日医療・介護クラスで特別講座が開かれ、札幌東徳洲会病院リハビリテーションセンターの菅野祐介理学療法士より「転ばない足腰に！～100歳まで骨折知らず～」というタイトルで転倒予防の大切さについてお話を聞きました。

65歳以上の高齢者の3人に1人は1年に1回以上転倒すると言われています。転倒によってけがをすると、体を動かさなくなり、身体機能が低下してさらに転倒しやすくなってしまう危険性があります。講座では、転倒の要因や、転倒を防ぐために必要なことを学び、転倒予防の簡単な運動を皆で体験しました。



何青さん 川崎マリアンナさん

今回の講座には札幌東徳洲会病院の医療通訳者二人が同席し、資料のページ探しなどをサポートしてくれました。同院には国際医療支援室があり、中国語・英語・ロシア語を含む7カ国語の医療通訳者が外国人患者の支援にあたっています。

帰国者のみなさんにとっても病院受診時の通訳はとても重要な存在です。重大な責任を伴う医療通訳という仕事にどのように取り組んでいるのか、お話を聞きました。

中国語担当の何青さんは、医療通訳に携わるようになって今年で10年目、ロシア語担当の川崎マリアンナさんは13年目、お二人とも結婚を機に来日し、日本語の勉強を始めました。来日当初は友達もなく、とても寂しかったという川崎さんに対し、何さんは、日本は住みやすく、特に苦労は経験していないと言います。ただ、慣れ親しんだ食べ物だけはどうしても恋しくなってしまうようで、「私は中国の四川省出身で、火鍋などの痺れるような辛い料理が大好きなのです。そのため、たまに『口が寂しいな、あの辛さが恋しい！』と体がクレームを上げてしまうことはあります（笑）」。

医療通訳は専門的な知識が必要となる仕事ですが、お二人はどのように勉強されたのでしょうか。

何さん「日本語能力試験（JLPT）1級に合格することは大前提として、それ以上に医療分野の専門的な勉強を重ねてきました。中国語の「医療通訳技能検定試験」と「医療通訳技能認定試験」に合格した後も、電子カルテの記述を読み込み、病気ごとの知識を深め、新しい用語や日々進化する医療機器についても日々学びを続けています」。

川崎さん「入職当初は通勤時間を利用して辞書や専門書を読み、働きながら独学で学びました。当時は外国人患者さんがまだ多くなかったため、勉強する時間を確保することができました。2018年には厚生労働省の育成カリキュラムによる「医療通訳養成コース」を修了し、医療通訳士技能検定試験1級（ロシア語）に合格しました。2020年には厚生労働省の「外国

人患者受入れ医療コーディネーター養成研修」を修了しました。現在も新しい疾患や薬剤、最新の治療法について学び続けています。医療は日々進歩する分野であり、医療に携わる者にとって継続的な学習は欠かせないと考えています」。

日々学びを続けるお二人にとって、日本語のどんなところが一番難しいか聞いてみました。何さんの答えは「敬語」。現代中国語は敬語がとても少ないため、日本語の敬語の種類の多さにとっても驚き、苦勞したそうです。川崎さんは、「漢字」。今でも手書きはあまり得意ではないと言います。

このような学びに加えて、複数の患者さんの対応を同時にしたり、ときには患者さんを見送らなければならなかったり、医療通訳の現場においては大変な場面も多々あります。それでも、お二人は異口同音に患者さんが回復したときは大きな喜びを感じる、と語ります。まさに「医療通訳を続けていてよかったと思える瞬間です」(川崎さん)。

最後に医療通訳という仕事の魅力について聞きました。

何さん「医療通訳のお仕事をすればするほど、健康や人間の体への理解が深まっていくことが魅力のひとつです。また、中華圏の様々な国や

地域出身の患者様に会えることも刺激になります。特にインバウンド患者様とは、これが最初で最後の出会いになります。もう二度と会うことはない。だからこそ、今この瞬間に全力を尽くしてあなたを支える——そんな覚悟を持って現場に臨んでいます。中国語には『萍水相逢、相忘于江湖（一瞬の出会いを経て、後は互いの存在さえ忘れてそれぞれの広大な世界で生きていく）』という言葉があります。もう二度と会うことはない、だからこそ、この一瞬の交わりにおいて私の持てるすべての力を尽くして寄り添う。病院という場所で生まれる、そんな切なくも温かい『一期一会』に、私は何よりもロマンを感じています」。

川崎さん「医療通訳の最大の魅力は、自分の仕事を通じて人の役に立てることです。言葉の壁によって不安を抱えている患者さんと医療従事者をつなぎ、安心して医療を受けられるよう支援できることに大きな意義を感じています。また、医療は常に進歩しているため、新しい知識を学び続ける機会があります。そのため、仕事にやりがいを感じるとともに、常に新鮮な気持ちで取り組むことができます」。

大変なお仕事の中にもやりがいを見出し、真摯に努力を続ける姿勢がとても印象的でした

8・9・10月の予定

8月 2026年							9月 2026年							10月 2026年						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
健康運動		給手紙	みんなであおう		太極拳		健康運動					太極拳		健康運動		給手紙	みんなであおう			
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
					介護予防運動 (もみじ祭)		健康運動 (はまなつ)	介護予防運動 (手塚前庭)	給手紙	みんなであおう		太極拳				給手紙	みんなであおう		太極拳	
17	18	19	20	21	22	23	健康運動 (ふまなつ)	介護予防運動 (手塚前庭)	給手紙	みんなであおう		太極拳		19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	健康運動							健康運動 (ふまなつ)	介護予防運動 (手塚前庭)				太極拳	
31							健康運動							26	27	28	29	30	31	
								28	29	30				健康運動						

編集後記：医療通訳のお二人には正式な病名と日常会話で使われる病名との違いなど、大変興味深いお話も伺いました。

今号では紙面の都合上、掲載できませんでしたが、今後の号で皆様にご紹介できれば幸いです。